

グローバル人材育成支援事業

岡山大学Alumni(全学同窓会)は、事業の大きな柱として学生支援を掲げていますが、その一環として、グローバル人材育成支援事業を開始しました。自己のグローバル化に向けた自己啓発活動として、異文化理解やコミュニケーション能力の向上に資する大会等に参加する学生に対して奨励金を支給することにより、学生の自己啓発を促進し、ひいては岡山大学全体のグローバル化を推進することを趣旨としています。

今回、募集・選考の結果、奨励金支給対象者に選ばれた学生さんからの報告をご紹介します。



環境理工学部・
環境管理工学科 在学中

渋谷 直樹

私は、2014年8月1日から8月7日に渡ってカンボジアのプノンペンで開催された第5回国際学生リーダーシンポジウムに参加しました。このシンポジウムは世界中、特にアジア地域から約700人以上の学生が集まり、

私も岡山大学・法学部の前田君、経済学部の佐々木君の3人で参加しました。このシンポジウムの開催趣旨は「持続可能な社会を目指し、世界で貢献する次世代リーダーの育成」で、主にスピーチ、ボランティア、国際交流で成り立っています。スピーチはCIN Heroesに選出された人物や、TEDに出演したことのある著名人により行われ、ボランティアに関しては、カンボジアの子供との触れ合い、環境保護に分かれて行われました。

今回のシンポジウムでの1秒1秒の時間の濃さは日本にいるときの何十倍もあり、今までの自分の人生の中で最も貴重な体験だったと断定できます。もちろん英語に関してはホテルのルームメイトも外国人であったため、起床の瞬間から寝る瞬間まで、どこにいて



も一日中英語漬けで、自分の英語の足りない部分、改善点を見つけ、大きな進歩を感じました。しかし自分にとって最も大きな収穫だったのが、自分の日常面での帰国後の変化であると思います。もちろんまったく新しい自分になれたとは言いません。たった1週間では大きく変わるものではないと思うからです。シンポジウム中は誰かまわす声をかけていた自分も、日本に帰ってからは行く前と相変わらずの大人しい生活をしています。でも内面では自分の変化を日々感じています。特にこのシンポジウム中は自分にとって未知なことや、抵抗のあることをたくさん経験したおかげで新しい視点を持

つことができたとし、「できなくてもいいからとにかくやってみる」という姿勢を身につけられたと思います。物事はやってみないと分からないものだと強く感じました。

今後はこのシンポジウムで学んだことを原点としていろんなことに挑戦していこうと思っと思っています。

